

平成30年度

彦根総合高等学校における学校評価

結果の報告

学校法人 松風学園
彦根総合高等学校
学校評価委員会



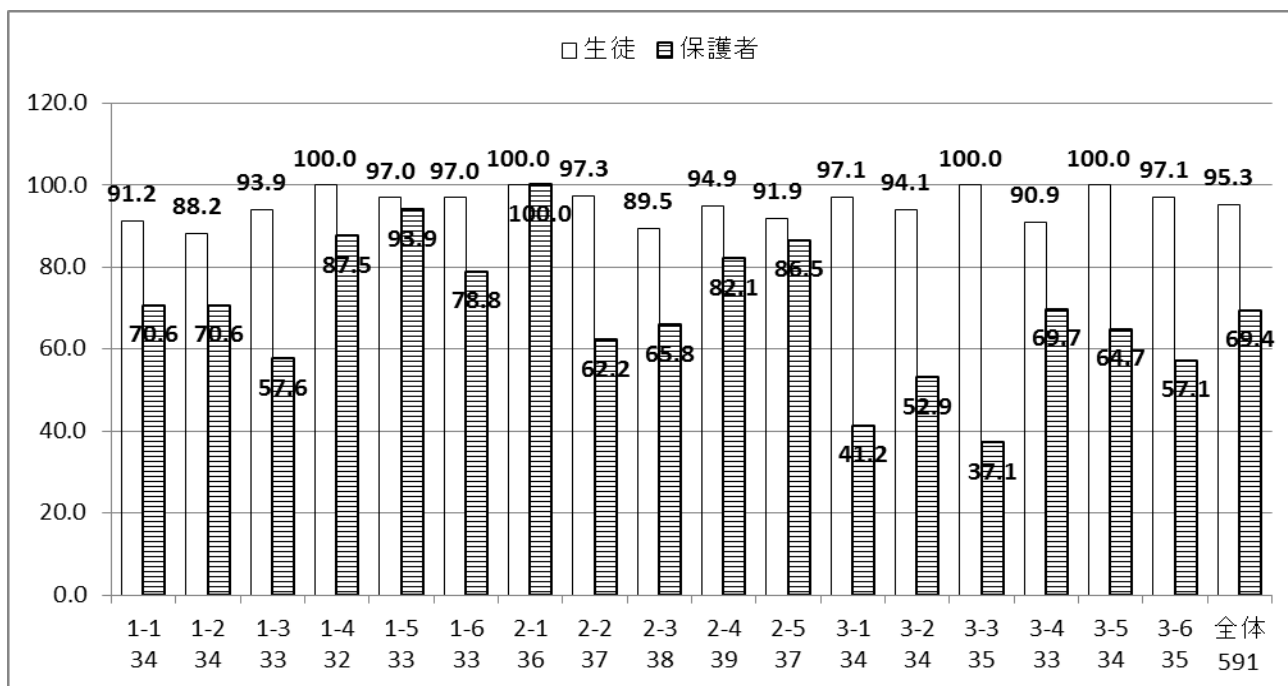
目 次

H30 回収率(グラフ)

学校評価の実施について	1～2
H30年度 学校評価 項目一覧	3
評価アンケート集計結果 生徒(学年別グラフ)	4
評価アンケート集計結果 保護者(学年別グラフ)	5
評価アンケート集計結果 生徒・保護者・教職員(グラフ)	6～8
前年度までの評価結果との比較(保護者・生徒・教職員 一覧)	9
調査結果についての分析・考察	10～12

平成 30 年度 学校評価回答 回収率

(生徒数は H30.12.1 現在)



回収率の変遷

年度	生徒%	保護者%	教職員	
			枚	%
H22	94.9	62.1	37	
H23	95.8	64	38	
H24	95.5	74.6	45	76
H25	93.1	69.5	49	87.5
H26	93.5	73.9	50	89.3
H27	94.7	79	52	85.2
H28	96.1	72.1	53	88.3
H29	95.3	66.7	55	91.7
H30	95.3	69.4	63	100
平均	94.9	70.1		88.3

学校評価の実施について

H30

彦根総合高等学校 学校評価委員会

1. 学校評価の必要性と目的

学校の裁量が拡大し、自主性・自立性が高まる上で、その教育活動等の成果を検証し、必要な支援・改善を行うことにより、児童生徒がより良い教育活動等を享受できるよう学校運営の改善と発展を目指し、教育の水準の向上と保障を図ることが重要である。また、学校運営の質に対する保護者等の関心が高まる中で、学校が適切に説明責任を果たすとともに、学校の状況に関する共通理解を持つことにより家庭・地域等と相互の連携協力の推進が図れることが期待される。

- ① 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価することにより、学校として組織的、継続的な改善を図ること。
- ② 各学校が、自己評価及び保護者等学校関係者による評価の実施とその結果の公表、説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- ③ 各学校の設置者が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講ずることにより、一定水準の教育の質を保障し、その向上を図ること。

2. 学校評価に関する規定

学校教育法

第42条 小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。

学校教育法施行規則

第66条 小学校は、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の評価を行うに当たっては、小学校は、その実情に応じて、適切な項目を設定して行うものとする。

第67条 小学校は、前項第1項の規定による評価の結果を踏まえた当該小学校の関係者（当該小学校の職員を除く）による評価を行い、その結果を公表するように努めるものとする。

第68条 小学校は、第66条第1項の規定による評価の結果及び前条の規定により評価を行った場合はその結果を、当該小学校の設置者に報告するものとする。

※ 上記の規定・規則は、幼稚園、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等にもそれぞれ準用
学校評価は、それ自体が目的ではなく、あくまでも学校の教育目標の実現に向け、教育活動がどこまで有効に行われたかを見直し、教育の水準の向上を図るための手段である。
そして、学校評価は、「子どもたちの変容（より良い成長）」を目指したものでなければならない。「子どもたちの変容」こそ、学校改善の中心となる絶対の指標と言える。
また、学校評価は情報の共有に役立っている。評価結果の良し悪しではなく、それを知

ることに価値がある。教職員には評価の過程を経た分の重みがある情報を提供することができる。これらの考えを踏まえ、規定に則り、学校評価を実施する。

3. 学校評価委員会の構成

教 職 員 … 副校長、教頭、研修部

P T A ・ 地 域 … P T A 会 長 1 名、 P T A 副 会 長 2 名

平成30年度 学校評価委員会 委員一覧

(敬称略)

	氏 名	所 属 ・ 役 職	
1	木川 裕史	彦根総合高校 P T A 会 長	
2	山田 泰人	彦根総合高校 P T A 副 会 長	
3	堀内 恵子	彦根総合高校 P T A 副 会 長	
4	山中 郁夫	彦根総合高校 副 校 長	
5	藤田建太郎	彦根総合高校 教 頭	
6	元廣 純子	第1学年主任	
7	宮 郁雄	第2学年主任	
8	古川 和香	第3学年主任	
9	古賀 寛陽	彦根総合高校 事 務 局	
10	若林 幹也	彦根総合高校 教 頭	研修部長・評価担当

彦根総合高等学校 学校評価

教育目標

豊かな感性を育てる。

重点目標

基礎学力の定着、向上を図る。

学力の向上をめざす。
生きる力を養う。

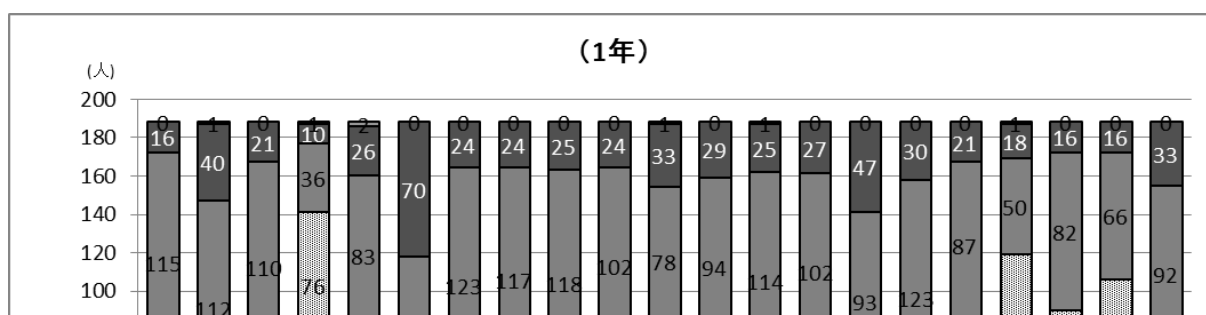
規範意識の高揚と基本的生活習慣の定着を図る。

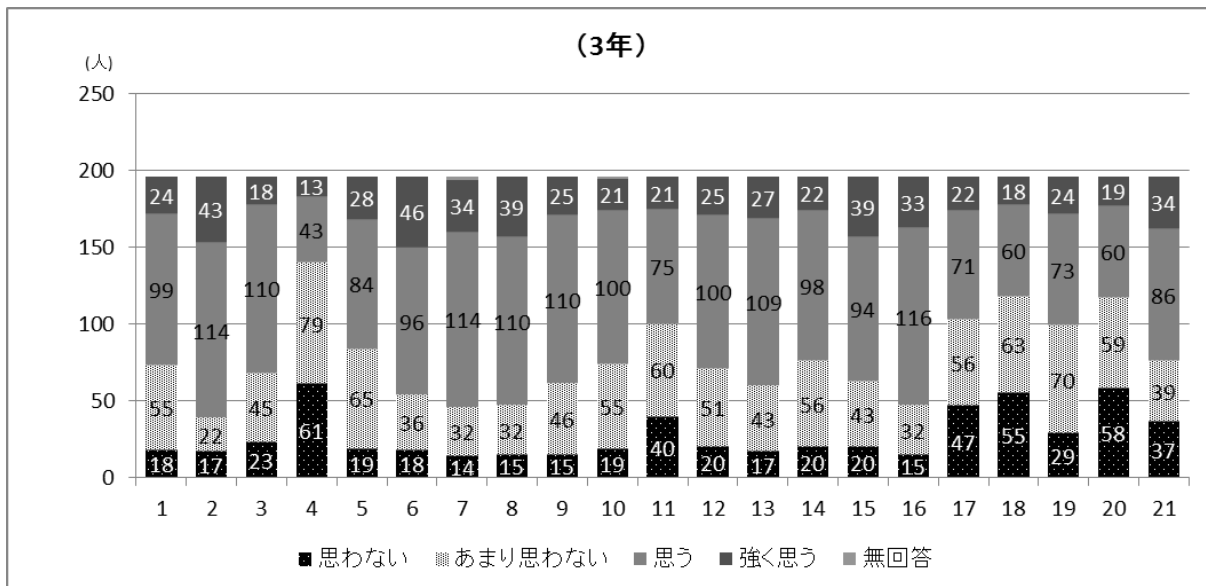
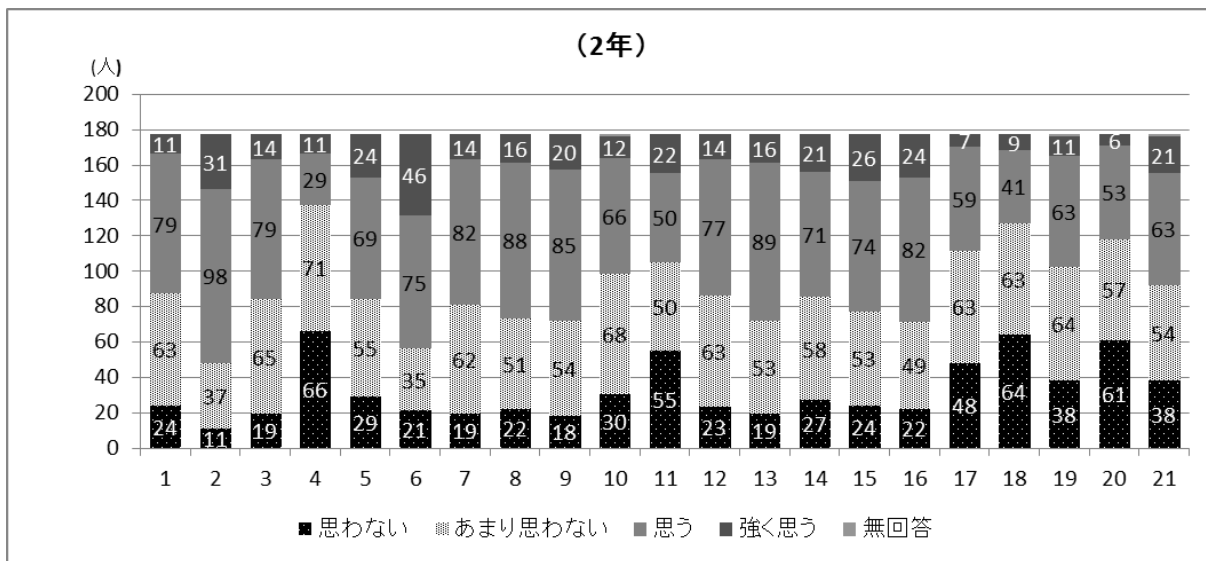
領域	重点評価項目
A 学校運営	1 ○教育目標に基づいた学校づくりがなされている。
	2 ○特色ある教育活動が推進されている。
B 学習指導	3 ○「わかる」授業が展開されている。
	4 ○自宅学習の意識づけが行われている。
C 生徒指導	5 ○基本的な生活習慣を確立するための取り組みがなされている。
	6 ○交通安全に対するルール、マナーの指導が適切に行われている。
D 進路指導	7 ○3年間を見通した系統的な進路指導がなされている。
	8 ○進路実現に向け、個々に応じた指導、相談ができています。
E 人権教育	9 ○人権意識を高揚させる取り組みが推進されている。
	10 ○教育相談体制が確立されている。
F 特別活動	11 ○有意義な学校行事が実施されている。
	12 ○生徒会、部活動などの活性化に努めている。
G 保健指導	13 ○事故、怪我、病気への対応が適切になされている。
	14 ○環境美化意識の高揚に対する取り組みが展開されている。
H 事務・管理	15 ○安全点検などの学校環境の整備が適切になされている。
	16 ○個人情報の保全など文書管理が適切に行われている。
I 図書館教育	17 ○図書を整備と充実に努めている。
	18 ○読書への興味、関心を高める活動に取り組んでいる。
J その他	19 ○保護者、地域に「開かれた学校」づくりが推進されている。
	20 ○特色をアピールするために適切な広報活動が展開されている。
	21 ○全体として、生徒をこの学校に入学させてよかった。
	○職場での各種研修は職務を遂行するうえで参考になった。【教職員対象】

H30

評価項目については、結果考察を積み上げ、継続的な改善に資するよう前年度のものを踏襲し、調査を実施する。

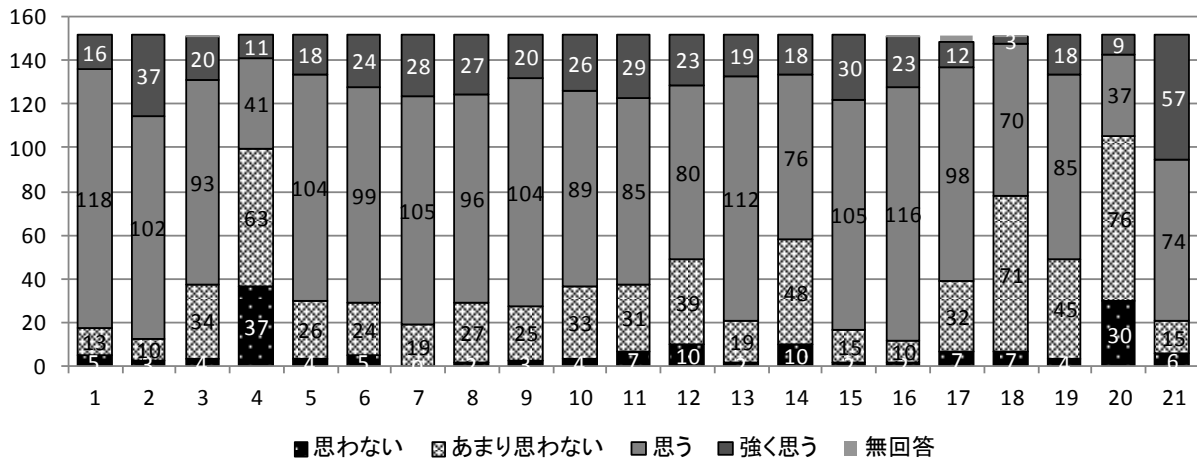
評価アンケート集計結果 生徒（学年別グラフ）



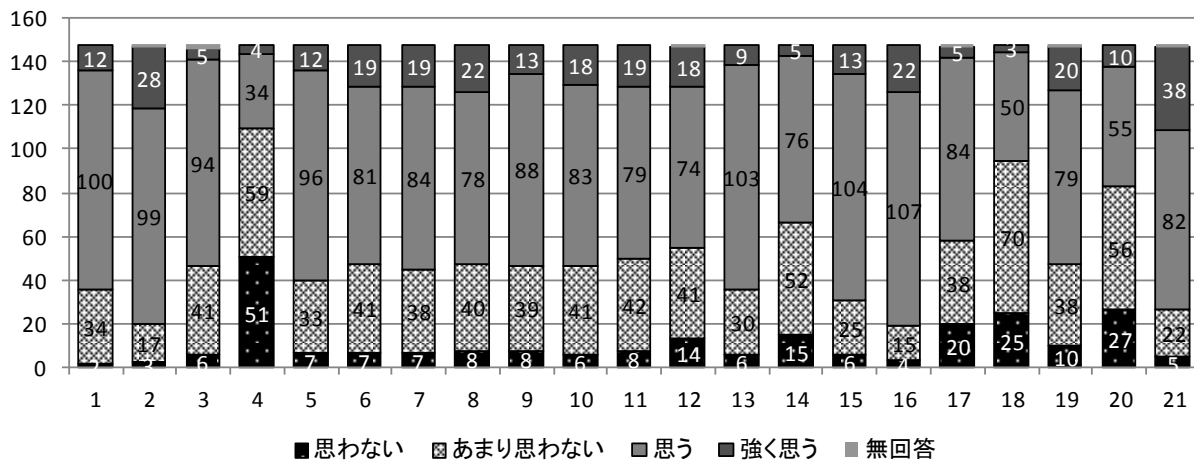


評価アンケート集計結果 保護者(学年別グラフ)

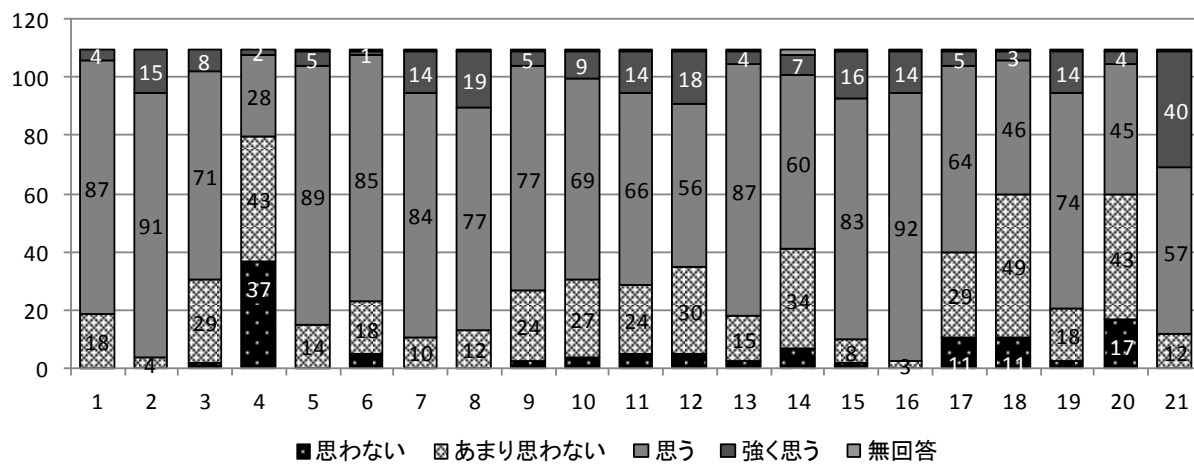
(1年)



(2年)

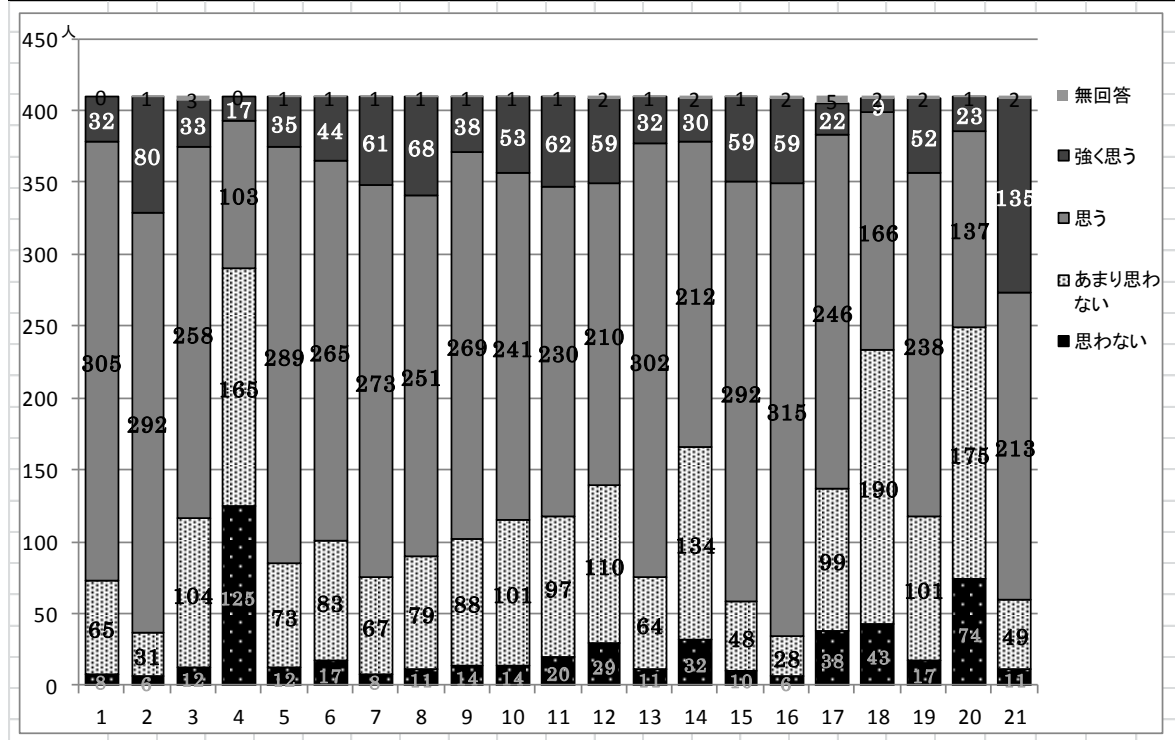


(3年)



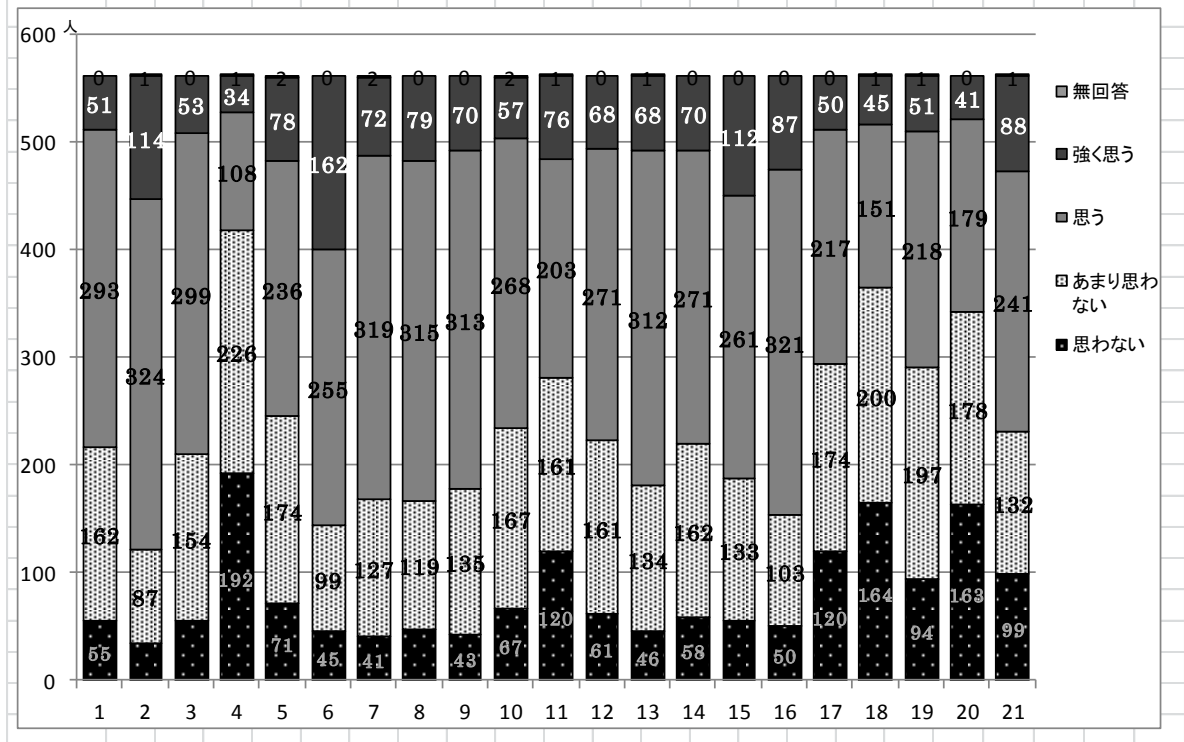
彦根総合高等学校 学校評価アンケート H30 保護者（回答 410名/591名）

		① 思 わ な い	② あ ま り 思 わ な い	③ 思 う	④ 強 く 思 う	⑤ 無 回 答
1	・本校では教育目標に基づいた学校づくりが推進されている。	8	65	305	32	0
2	・本校では各系列の特色に沿った教育活動が実践されている	6	31	292	80	1
3	・本校では「わかる」授業が行われている。	12	104	258	33	3
4	・生徒は自宅で学習している。	125	165	103	17	0
5	・本校では基本的な生活習慣を確立する指導がなされている。	12	73	289	35	1
6	・本校では交通安全に対する規則やマナーの指導が適切に行われている。	17	83	265	44	1
7	・本校では学年に応じた適切な進路指導がなされている。	8	67	273	61	1
8	・進路の実現に向け、相談などに親身に対応してくれる。	11	79	251	68	1
9	・学校では人権教育がしっかりと行われている。	14	88	269	38	1
10	・学校では生徒が相談しやすい環境がつけられている。	14	101	241	53	1
11	・生徒はいきいきと積極的に学校行事に参加している。	20	97	230	62	1
12	・本校の生徒会活動、部活動は活発にできている。	29	110	210	59	2
13	・本校では学校安全や保健などの対応を適切に行っている。	11	64	302	32	1
14	・生徒は環境美化意識が高く、身の回りの整頓ができている。	32	134	212	30	2
15	・本校は安全点検や学校環境の整備に力を入れている。	10	48	292	59	1
16	・学校は個人情報などの保護や文書管理に配慮できている。	6	28	315	59	2
17	・本校の図書館は利用しやすい環境になっている。	38	99	246	22	5
18	・生徒が読書に興味を持つような指導がなされている。	43	190	166	9	2
19	・学校の情報が生徒、保護者にわかりやすく伝えられている。	17	101	238	52	2
20	・学校の情報を、メディアを通して見たり聞いたりすることがある。	74	175	137	23	1
21	・全体として、生徒をこの学校に入学させてよかった。	11	49	213	135	2



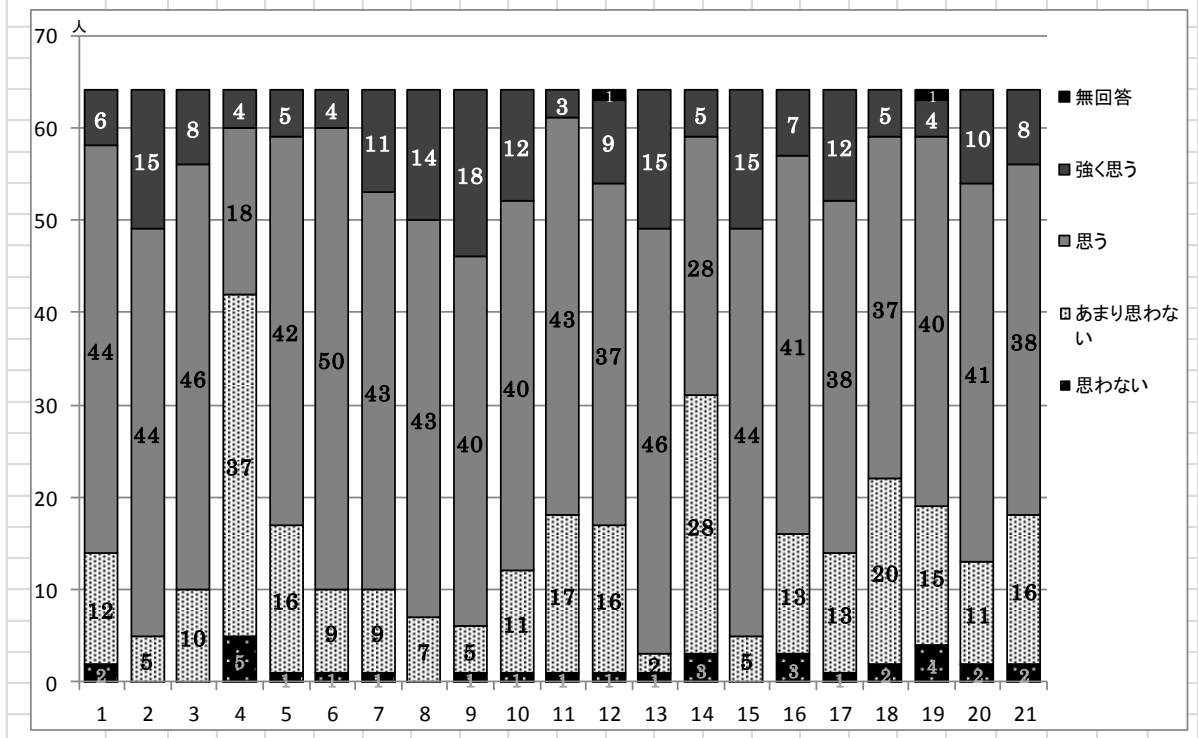
彦根総合高等学校 学校評価アンケート H30 生徒 (回答 561名/591名)

		① 思 わ な い	② あ ま り 思 わ な い	③ 思 う	④ 強 く 思 う	⑤ 無 回 答
1	・本校では教育目標に基づいた学校づくりがなされている。	55	162	293	51	0
2	・本校では各系列の特色に沿った教育活動が実践されている。	35	87	324	114	1
3	・本校では「わかる」授業がなされている。	55	154	299	53	0
4	・自宅での学習の習慣が身についている。	192	226	108	34	1
5	・基本的な生活習慣が身についている。	71	174	236	78	2
6	・登下校時に交通規則やマナーをしっかりと守れている。	45	99	255	162	0
7	・本校では学年に応じた適切な進路指導をしてくれる。	41	127	319	72	2
8	・先生は、進路の相談に対応してくれ、的確に指導してくれる。	48	119	315	79	0
9	・学校ではLHR等を通して人権意識を高める取り組みが行われている。	43	135	313	70	0
10	・学校では、悩んだときに相談に乗れる体制が整っている。	67	167	268	57	2
11	・体育祭、文化祭などの学校行事は充実している。	120	161	203	76	1
12	・本校での生徒会活動、部活動は活発である。	61	161	271	68	0
13	・本校では健康や安全に気を付けるよう指導されている。	46	134	312	68	1
14	・ごみの分別や掃除などの環境美化に積極的に努めている。	58	162	271	70	0
15	・学校の施設や設備は充実している。	55	133	261	112	0
16	・学校は個人情報の保護などに配慮している。	50	103	321	87	0
17	・図書館は利用しやすい環境である。	120	174	217	50	0
18	・朝読書で読書への興味関心が高まっている。	164	200	151	45	1
19	・学校の様子が保護者に十分伝わっている。	94	197	218	51	1
20	・学校の情報を、メディアを通して見たり聞いたりしたことがある。	163	178	179	41	0
21	・この学校に入学してよかった。	99	132	241	88	1



彦根総合高等学校 学校評価アンケート H30 教職員 (回答 63名/63名)

		① 思 わ な い	② あ ま り 思 わ な い	③ 思 う	④ 強 く 思 う	⑤ 無 回 答
1	・本校は教育目標に基づいた学校づくりに努めている。	2	12	44	6	0
2	・本校では各系列等に応じた教育活動を実践している。	0	5	44	15	0
3	・「わかる」授業を実践するために工夫改善を行っている。	0	10	46	8	0
4	・生徒の自宅学習を促す活動を行っている。	5	37	18	4	0
5	・基本的な生活習慣の確立を目指す指導を適切に行っている。	1	16	42	5	0
6	・交通安全のルールを遵守する指導に努めている。	1	9	50	4	0
7	・各学年の状況に応じて系統立てた進路指導を行っている。	1	9	43	11	0
8	・生徒の進路実現に向け、個々に応じた指導を適切に行っている。	0	7	43	14	0
9	・LHR等を通して人権意識を高揚させる取り組みを行っている。	1	5	40	18	0
10	・学校では個々に応じた、教育相談の体制が確立されている。	1	11	40	12	0
11	・学校行事がより良いものになるよう努めている。	1	17	43	3	0
12	・生徒会、部活動の活性化のために積極的に取り組んでいる。	1	16	37	9	1
13	・本校は生徒の事故、ケガ等に適切に対応している。	1	2	46	15	0
14	・生徒の環境美化意識向上のための指導に努めている。	3	28	28	5	0
15	・本校は安全点検など学校環境の整備を適切に行っている。	0	5	44	15	0
16	・文書管理やデータ管理を適切に行っている。	3	13	41	7	0
17	・図書館を利用しやすくするための環境づくりに努めている。	1	13	38	12	0
18	・生徒が読書に興味を持つような取り組みを行っている。	2	20	37	5	0
19	・本校は保護者や地域と協力した学校づくりに努めている。	4	15	40	4	1
20	・学校の特色などが適切に外部に発信できている。	2	11	41	10	0
21	・生徒はこの学校に入学してよかったと思っている。	2	16	38	8	0



領域		重点評価項目	教職員	生徒	保護者	教職員	生徒	保護者	教職員	生徒	保護者	比較
A 学校運営	設問 1	○ 本校では教育目標に基づいた学校づくりが推奨されている。	A	B	A	A	B	A	A	B	A	**
	設問 2	○ 各系列の特色に沿った教育活動が実践されている。	A	A	A	A	A	A	A	A	A	**
B 学習指導	設問 3	○ 本校では「わかる」授業が行われている。	A	B	A	A	B	B↓	A	B	B	*
	設問 4	○ 生徒は自宅で学習している。	C	C	C	C	C	C	C	C	C	
C 生徒指導	設問 5	○ 本校では基本的な生活習慣を確立する指導がなされている。	A	B	A	A	B	A	B↓	B	A	*
	設問 6	○ 本校では交通安全に対する規則、マナーの指導が適切に行われている。	A	A	B↓	B↓	A	A↑	A↑	B↓	A	**
D 進路指導	設問 7	○ 本校では、学年に応じた計画的な進路指導がなされている。	A	B	A	A	B	A	A	B	A	**
	設問 8	○ 進路の実現に向け、相談などに親身に対応してくれる。	A	B	A	A	B	A	A	B	A	**
E 人権教育	設問 9	○ 本校では人権学習がしっかりと行われている。	A	B	A	A	B	B↓	A	B	A↑	**
	設問 10	○ 本校では生徒が相談しやすい環境がつけられている。	A	B	B↓	A	B	B	A	B	B	*
F 特別活動	設問 11	○ 生徒はいきいきと積極的に学校行事に参加している。	A	B	B	B↓	B	B	B	B	B	
	設問 12	○ 本校の生徒会、部活動は活発に活動できている。	B↓	B	B	B	B	B	B	B	B	
G 保健指導	設問 13	○ 本校では学校安全や保健などの対応を適切に行っている。	A	B	A	A	B	A	A	B	A	**
	設問 14	○ 生徒は環境美化意識が高く、身の回りの整頓ができている。	B	B	B	C↓	B	B	B↑	B	B	
H 事務・管理	設問 15	○ 本校では安全点検や学校環境の整備に力を入れている。	A	B	A	A	B	A	A	B	A	**
	設問 16	○ 学校は個人情報などの保護や文書管理に配慮できている。	B↓	B↓	A	↑A	B	A	A	B	A	**
I 図書館教育	設問 17	○ 本校の図書は充実している。	↑A	C↓	B	A	C	B	A	C	B	*
	設問 18	○ 生徒が読書に興味をもつような指導がなされている。	↑B	C	↑B	↑A	C	C↓	B↓	C	C	
J その他	設問 19	○ 学校の情報が生徒、保護者にわかりやすく伝えられている。	A	C↓	B	A	↑B	B	B↓	B	B	
	設問 20	○ 学校の情報をメディアを通して見たり聞いたりすることがある。	B↓	C	C	B	C	C	A↑	C	C	*
	設問 21	○ 全体として、生徒をこの学校に入学させてよかった。	A	B	A	A	B	A	B↓	B	A	*

※表中のA～Cは、肯定的評価が75%以上=A、75～50%=B、50～25%=C。（↑前年より昇：↓前年より降） 教職員 生徒 保護者 教職員 生徒 保護者

H30年度 保護者欄の**は保護者・教員双方がA / *は保護者・教員いずれかがA（評価に差あり）

【A15 A2 A10 : A13 A1 A11】

調査結果についての分析・考察

回収の状況

集計をしていると生徒の中には、すべて、①に○をつけている生徒や、②に○をつけている生徒が複数名見受けられた。素直にそのように感じたのか、面倒くさいからすべて①にしようという意識からなのか不明である。

回収率

回収率を見てみると、生徒は 95.3%と昨年同等の割合であった。保護者に関しては 2.7 ポイント上昇し、69.4%であった。全体の回収率は例年とさほど大きくは変わらないが、クラス単位で見ると(学校評価 回答・回収率参照)、生徒の回収率が 100%のクラスが 4 クラスあり、さらには、保護者の回収率が 100%のクラスが 1 クラスあったのは素晴らしい傾向である。この背景には、担任の先生の全体への声掛けが大きいように感じる。

三者(生徒・保護者・教職員)の評価結果 P 9 参照

【三者の評価に共通した傾向】

三者の意識が肯定的なのは例年通して、第2項(A学校運営)の「各系列の特色に沿った教育活動が実践されている。」である。このことは、総合学科としては大切なことで、各系列がそれぞれに特徴のある授業や事業を展開している結果である。系列発表大会(各系列の1年間の授業成果を発表する場)においても多種多様な系列の発表がされており、教職員・生徒だけでなく、保護者にも浸透している点が素晴らしいと感じる。

その一方で、否定的な意識が強いのは、第4項(B学習活動)の「生徒は自宅で学習をしている。」である。生徒や保護者だけでなく、教職員もこの項目についてはC評価である。この面から推測するに、教員は生徒が自宅学習をしていないと見ていることがわかるが、自宅学習をするための取り組みを長期休暇だけでなく普段の授業の中でどのように取り組むかを試行錯誤していかなければならない。各授業・各教科さらには各学年などの取り組みも検討していくことで、生徒・保護者の評価も変わるのではないだろうか。

また、第20項(Jその他)の「学校の情報をメディアを通して見たり聞いたりすることがある。」では、教職員はA評価であるが、生徒・保護者はC評価であるのも気になる点である。教師側としては、外部発信をしているが、その発信が生徒や保護者に伝わっていないのではないだろうか。生徒も保護者も愛校心を持ってもらうことで、メディアなども意識してもらえるのではないだろうか。

さらに、例年の事ではあるが、生徒の評価でA評価が少ないのが気になる。“生徒が主役の学校”を目標とするのであれば、このことは、重くとらえ、それぞれの立場での取り組みをより充実していくことが大切であると思う。

【保護者による評価】

- ④（強く思う）が多かったのは、第21項である。昨年も同様に最も高い値であった。この点から保護者は「入学させて良かった」と思っていることが伺える。
- 否定的な評価としては、第4項に続いて、第20項で、次いで第18項（読書指導）が続く。この結果は、昨年同様である。

【生徒による評価】

- ④（強く思う）が多かったのは、第7項の「交通安全のルールを遵守する指導に努めている」であった。多くの生徒に交通安全は浸透しているが、一部の生徒が登下校中に道幅いっぱい広がっているなどとクレームをいただくことがある。
- 否定的な評価としては、第4項に続いて、第18項（読書指導）で、次いで第20項が続く。この結果は、昨年同様であり、保護者と同傾向である。

【教職員による評価】

- 肯定意識の高いものは、第2項について第13項（事故・怪我への適切な対応）であった。
- 否定意識が高いものは、第4項について第14項（環境美化）であった。
- 傾向としては、例年の結果と変化はない。

上昇傾向 第6項 交通安全 B→A
 第20項 その他(メディアを通しての情報発信) B→A
 第14項 環境美化 C→A

上記3項目であった。

減少傾向 第5項 基本的な生活習慣の確立 A→B
 第18項 読書指導 A→B
 第19項 保護者への情報発信 A→B
 第21項 生徒をこの学校に入学させて良かった A→B
 第22項 各種研修 A→B

上記5項目であった。

【課題から改善を目指すこと】

- わかる授業の実施（教師の「丁寧に指導している」意識と、生徒や保護者の意識のずれ。）
- 自宅学習状況の改善（例年の課題）
- 基本的な生活習慣の確立（教師のポイントが減少。指導に至らない点があったという認識）

識になる。)

- 交通安全のマナー指導、生徒はB評価、マナーが守れていないことに少なからず自覚あり。
- 生徒の環境美化意識の育成（生徒の清掃活動を促す取り組みに力を入れる。）
- 読書の推進
- 学校の情報発信（学校は情報・メディアの活用はしているが、それが、生徒や保護者に伝わっていないことが読みとれる。生徒や保護者への情報発信をする）

上記のような点が、評価結果より読みとれる。例年とさほど大きく変わる点はないが、例年同じ結果になるのは、状況に変化がないことを示している。改善を行う姿勢や取り組みが必要である。